

会 議 録 (要点筆記)

会 議 名	第3回米原市総合計画審議会
開 催 日 時	令和3年12月8日(水) 午前9時30分から午前11時30分まで
開 催 場 所	米原市役所本庁舎 会議室4AB
出席者および欠席者	出席者：鶴飼修委員、富川拓委員、谷口絹代委員、山本泰裕委員、 佐野昌子委員、清水啓子委員、高田由利委員、谷口嘉之委員、 法雲俊邑委員、藤田知丈委員、三田剛史委員、矢野令子委員、 山本晃司委員、山脇光二郎委員、吉田正子委員 事務局：鹿取政策推進部長 政策推進課 清水課長、松村課長補佐、石田主任 傍 聴：3人
議 題	1 第2次米原市総合計画見直し案について ・第2次米原市総合計画見直し素案に対する審議会委員の意見の反映 について(資料1) ・第2次米原市総合計画見直し案について(第1章～第6章) 2 答申書案について(資料2)
結 論	・資料1をもとに、前回審議会での意見の反映等に関して確認を行った。 ・第2次米原市総合計画見直し案、答申書案について、本日の意見を踏ま え一部修正し、市長へ答申する。
審 議 経 過 (主な意見等を原則と して発言順に記載)	1 開会 2 会長挨拶 3 議事 今回も各委員に担当分野を割り振り、意見を求めたい。 資料は、前回の審議会で出された意見を反映した状態で作成されてい る。では、事務局から説明をお願いする。 【事務局から説明】 ・第2次米原市総合計画見直し素案に対する審議会委員の意見の反映 について(資料1) ・第2次米原市総合計画見直し案について(第1章、第2章) ・第2次米原市総合計画とSDGsの関係(参考資料1) ・第2次米原市総合計画と第2期まち・ひと・しごと米原創生総合戦略・ シティセールスプランの関係(参考資料2)
会長	
事務局	
会長	参考資料1ではSDGsで定められた17個の目標について、今回の施策が

委員	<p>どのように対応しているかをまとめたものである。各施策が SDGs のどの項目に関連するかを確認するための資料である。実際の SDGs の目標は 17 項目に分かれているが、それぞれの目標が独立しているというよりは、複合して達成し得るものであるため、関係性を整理するためにも確認いただきたい。</p> <p>参考資料 2 は、総合計画とまち・ひと・しごと米原創生総合戦略、シティセールスプランとの関係性を整理したものである。</p> <p>参考資料 1、2 を今回の総合計画の見直しにより追加してよろしいか。</p> <p>追加するのは問題ないが、追加したからこれで大丈夫というのではなく、総合計画に追加することで、今後そこに向かって努力していくということを改めて認識してほしい。</p>
会長	<p>SDGs は世界共通の目標である。例えば、飢餓の問題は全世界共通で日本でも問題になっている。こうしたどの地域も抱える課題に対して、みんなで知恵を出し合って解決するために共通言語として使おうとしているものである。そのため、この SDGs の資料を見直し後の総合計画に追加するということがよろしいか。</p>
委員一同	<p>異論なし</p>
会長	<p>では、第 1 章と第 2 章担当の委員から意見ををお願いしたい。</p>
委員	<p>前回の審議会では提案できなかった内容になるが、52 ページ「1-3 住み慣れた地域で健やかに暮らせる安心長寿のまち」と 61 ページ「1-6 いつまでも安心して暮らせる仕組みが整ったまち」について、現状、介護や福祉の人材が大変少ない中、人口減少や高齢社会を迎えるにあたり、今後、介護・福祉人材が確実に必要であることから、「プロの介護人材の確保育成が必要である」という一文を現況と課題に加えることで、今の厳しい状況がはっきりと伝えられると思う。そのため、1-3 あるいは、1-6 の現況と課題に入れてはどうか。特に 1-3 は介護人材に関わることであり、1-6 は担い手不足という視点になるかもしれないが、検討いただきたい。</p>
会長	<p>文言は事務局に一任する方向でよいか。</p>
委員	<p>一任でよい。</p>

委員	<p>第1章の子育て関連の中に、放課後児童クラブの内容を追記してほしい。支援員の皆さんは、子どもたちの学校や家庭に代わる毎日の生活の場となるように支えておられる状況であるので、ぜひ追記をお願いしたい。</p> <p>また、手話言語条例に基づく取組として、幼いうちから手話に親しむということは重要である。手話をすることで、障がいのある人への対応や優しさが子どもの成長段階で必要になると思う。しかし、手話言語条例の中では、手話を言語とする人たちとお互いに理解し、手話を勉強するに当たって、手話の指導者は聴覚障がい者でなければならないという趣旨の内容が定められている。手話通訳者も手話を教えることはでき、放課後児童クラブで手話の勉強会をしたところ、子どもたちは一生懸命取り組んでいた。しかし、こういった条例が引っかかり、結局駄目になってしまった。こうした文言を改善していく内容を総合計画にも記載しておく活動を進めやすくなると思う。</p>
会長	<p>手話言語条例というものがあるのか。</p>
委員	<p>市には手話言語条例があり、推進に当たっては聴覚障がい者の皆さんが中心となって活動されているようで、私の放課後児童クラブでは、クラブ活動があるのでその活動の一つとして手話を始めた。しかし、子どもたちの興味が膨らみ、活動がどんどん進んでいくにつれて、聴覚障がい者の方から負担等もあり、これ以上はできないと言われた。せっかく子どもたちは手話を学ぼうとしているのに、市の条例で、聴覚障がい者でなければ指導できないという文言があることが弊害になってしまった。手話通訳者も手話ができるのだから、その方たちに指導をお願いしたかったが、結局できなかったという経験がある。</p>
会長	<p>そうしたことが現実的な課題として生じている以上、総合計画に追記するよりも、条例の改善に取り組んだ方がよいと思うが、いかがか。</p>
委員	<p>条例を改正すべきだと思う。</p>
会長	<p>放課後児童クラブについて指摘された内容について、計画をざっと見たところ確かに見当たらない。</p>
事務局	<p>放課後児童クラブという文言自体は見当たらないが、事務局で再度確認し、担当部局とも相談し検討する。</p>
委員	<p>現在、小中学校では図書館管理のシステム化が進められている。市立図</p>

	<p>書館ではこうした変更も簡単に進められるが、学校では簡単には進まず、システム化に向けて予算をつけて進められているところであり、子どもたちにとっても気軽に本を借りることができ、本を手に取り、読む機会を増やせることは良いことだと思う。しかし、先日、20～30年前の環境問題を扱った本を除籍するかどうか検討した際に保存状態が綺麗だからとか、本の数が少ないからという理由で残すこととなった。SDGsを取り上げた本が新刊の所に並んでいるのにも関わらず、環境問題のコーナーには30年前の空き缶回収の写真が紹介された本がありどうなのかなと思った。学校図書の充実に向けた方向性は総合計画ではどこに記載されているのか。「2-1心豊かで多様な未来を切り開く子どもが育つまち」には記載がなく、「2-3人と地域を豊かにする学び合いと育ちあいのまち」では、図書館や学びあいステーションの充実を目指すといった方向性は見られたが、子どもにとって身近な学校の図書室についての目指すべき方向性は記載がないので、気になった。</p> <p>66ページの主な取組の展開「①就学前保育・教育、学校教育の充実」の中で「本との出会いにより子どもの生きる力を育むため、子ども読書活動を推進します。」とあるが、いざ読書をしようとした際に、今の図書室の状態はいかがなものかと思う。</p>
会長	<p>「本との出会いにより子どもの生きる力を育むため、子ども読書活動を推進します。」の文頭に「図書館機能を充実させ」と追記してはどうか。</p>
委員	<p>過去の（古い）本が保存されていることは、大学関係者である私の立場からすれば良いことだと言いたい。ただ、過去の本の使い方は教師や司書等がきちんと伝えるべきであり、当時の判断で起こった事実であることを理解しておくなければならない。</p> <p>市内の小中学校には図書館司書はいるのか。</p>
会長	<p>2～3年前から予算がついて、各学校に司書教諭が配置されつつある。</p>
委員	<p>学校図書室も図書館司書や司書教諭を配置し、子どもが相談できる環境を整えてほしい。本は新しいものが大事なのではなく、古い本も現在や未来と比べる上で重要なものである。</p> <p>大学でも図書館ツアーのような取組があるので、図書館利用教育のようなものを実施してもらいたい。</p>
	<p>市内には近江と山東の図書館があり、伊吹地域には伊吹図書室がある。伊吹図書室は、図書館ではないので新刊を購入することができず、充実した内容の施設にすることが難しい。</p>

	<p>学童の子どもたちは図書室を利用してはいるものの、新しい本が買えない現状である。読書の推進を掲げるのであれば、今、学校図書室で利用しているバーコード管理を伊吹図書室でも利用できるようにしてほしい。伊吹図書室はバーコードが外されていて、手書きで記録をして貸出している状態であるので、施設や地域によって差が出ないように改善してほしい。</p>
会長	<p>図書館機能の充実については記載があるか。</p>
委員	<p>71 ページ主な取組の展開「③図書館機能の整備・充実」として記載がある。</p>
会長	<p>この内容を読む限り、伊吹図書室も含めて図書館機能の充実を図ることの重要性は記述されていると思う。</p> <p>しかし、学校図書館に関しては記述をどうするかだが、先ほどの66ページ、主な取組の展開で「読書活動を推進します。」のところに「学校図書室の充実」等を入れてはどうか。</p>
委員	<p>私は、現在伊吹小学校と春照小学校で図書館司書教諭の仕事をしていて、今年度9月から全ての図書にバーコードをつけることになった。春照小学校ではボランティアの協力もあり、利用可能な7,000冊の図書にバーコードを付け終えることができた。子ども一人一人にバーコードを割り当て、バーコードリーダーを使って貸し出しもできるようになった。</p> <p>先日、図書委員会で子どもたちにバーコードリーダーを使った貸出確認の作業を体験してみないか尋ねたところ、「どこかの図書館みたい」と大変喜んでいた。</p> <p>ただ、今まで管理があまり行き届いていなかったこともあって、埃のかぶった本が何冊もあり、管理を続けていくことは難しい。また、コロナ禍で本の扱い方にも注意が必要で、そうした指導をきちんと行うことも大変である。</p> <p>子どもたちは新しい本を選びがちで、古い本にはなかなか興味が向かず、読書傾向としては大人が考える「良い本」ではなく都市伝説や怖い話選ばれている。司書教諭としては、子どもたちにはぜひ「良い本」を読む環境を作ってあげたい。字に親しむという点から言えば、どんな本でも良いのかもしれないが、心を打つ本当に美しい本を読んで欲しい。今は、都市伝説はたくさん知っているのに、昔話を知らないという子がたくさんいる。そのため、各教室へ読み聞かせに出向くときには、できる限り涙を誘う本を選ぶようにしている。ただ、子どもたちは一瞬、感動してくれるが、本の続きを読みたいという子はいない。それでも、できるだけこうし</p>

	<p>た機会は増やしていきたい。</p> <p>先日、市から各学校の蔵書数に関する調査があった。市として予算をつけて、本を購入するためだと聞いている。結果的に予算がどの程度充てられるかわからないが、ぜひ良い本を読む機会を子どもたちに作ってあげたい。</p>
委員	<p>71 ページの「市民協働の取組」で「図書館を利用し、自身の学びにつなげましょう。」とあるが、「学び」に限定せず、「生きがいつくり等」も含めた広い視野での言葉が必要だと思う。</p>
委員	<p>77 ページの「2-6 一人一人が尊重され平和を大切にすまち」の人権の関係について、昨今議論になっているパワハラやセクハラ等の言葉がどこかに書いていけば良いと思うが、記載がなければハラスメントに係る一文をどこかに追記してほしい。ヘイトスピーチやマイノリティ、いじめ等、様々な問題が挙げられているが、ここで記載されているいじめの防止は学校教育を対象とした話だと思う。職場におけるパワハラ、セクハラ、マタハラ等の各種ハラスメント防止の視点を追記してほしい。</p>
会長	<p>77 ページの現況と課題の適当な個所に「各種ハラスメント」という言葉を追加するというだけでよいか。</p>
委員	<p>この審議会は、個別具体的な問題を議論する場ではなく、総合計画の見直しについて議論をする場であり、各施策をどのように改善するかという議論をしてはいかかがか。</p>
会長	<p>主な議論は前回の審議会で行っており、今回はその確認と訂正という形で進めたい。文言の過不足は大事な話であるため、今ほどのハラスメントの文言を入れることについては事務局としてはよろしいか。</p>
事務局	<p>文言を追加する方向で修正したい。</p>
会長	<p>では、第1章と第2章については以上の意見でよろしいか。</p>
委員	<p>読書の話については、大事な内容だと感じている。</p> <p>滋賀県の学力テストは小中学校ともに40番台が続いている。成績が優秀な福井県や秋田県との違いの一つに読書の有無があり、福井県等では学校での朝読書や市全体で読書を推進する取組が浸透している。</p> <p>群馬県では、縄文かるたを覚えることで言葉を理解する取組が行われて</p>

	<p>いる。米原市も「読書を進めましょう」というのではなく、市内全小中学校で読書時間を設けて、市が学力向上を後押しする施策を打ち出してはどうか。学校教育と連携した中で、読書習慣を身につける取組があった方がいいと思う。</p> <p>市民アンケートでは「学力の低下を心配している」とか、「学校の先生の質が悪い」といった意見もあったが、環境ばかりを責めるのではなく、環境を改善する施策を打てば、米原市の子どもたちの学力は上がると思う。そのため、学校教育の分野でもう少し踏み込んだ取組を追記したほうがよいと思う。</p> <p>学力向上というのは読む力の向上だと思うので、その力をどうやって身につけさせるかを読書の計画の中で示されている方がよい。</p>
会長	<p>総合計画では、どこにどういうふうに反映させるとよいと思うか。</p>
委員	<p>「読書をしましょう」というだけでなく、学校教育の中でも読書習慣を身につけさせる取組の必要性を追記してはどうか。</p>
会長	<p>この案は対応可能か。</p>
事務局	<p>66ページの「①就学前保育・教育、学校教育の充実」の中で、読書活動を推進すると記載しているが、これまでの意見を踏まえ、読書活動だけでなく、環境の充実や学力向上に繋がるような形になるよう、担当課と相談して表現を改めたい。</p>
会長	<p>では、次に第3章と第4章について事務局から説明をお願いします。</p>
事務局	<p>【事務局から説明】 ・第2次米原市総合計画見直し案について（第3章、第4章）</p>
会長	<p>では、担当の委員から意見をお願いします。</p>
委員	<p>まず、第3章と第4章に関わらず、総合計画全般について意見したい。今回の議論は、10年計画のうちの間見直しという位置付けなので、あまり修正はできないと聞いている。この5年間、特にこの2年間で世の中は激変しているなので、もう一度立ち止まって見直した方がよいのではないか。</p> <p>前回も今回も審議会は2時間で打ち切りとされており、実施したという形だけを求めている感じがする。せっかく各方面の委員が集まってい</p>

る場であるのだから、細かな修正をすることも大事ではあるが、市長には大きな転換をすることも検討してほしい。今の議論は基礎がうやむやな状態で、上物だけを修正しようとしているようにしか思えない。市民が本当にどう思っているかを真剣に聞いた方がよい。

第3章の都市公園について、先日、磯公園の計画に関する会議を傍聴した。この会議では、磯に決定した理由として「以前に進められていた計画に則って候補は複数あったが、今回はここがやりやすかったので決定した。」という趣旨の説明がされた。磯という地域は米原市の一番端で、近場には彦根市の金亀公園という馴染み深い、スポーツ施設も整った立派な公園がある。その会議では、彦根総合高校が米原市に来られるに当たり、隣が適当であったという説明であったが、これはおかしいと思う。

88ページの「①暮らしやすい生活環境の整備」の中で「都市公園の持つ憩いの場、都市景観の形成、防災面での利活用など、多面的な機能を発揮するため、市民との協働によりきめ細かな維持管理に取り組むとともに、計画的な公園、緑地の整備を進めます。」と書かれている。

しかし、根本的に米原市民のうち何割がその都市公園に行くのか。憩いの場を求めて磯公園へ行く人がいるのか。都市景観の形成と言われても感覚的に誰がそのように思うのか。防災面での利活用とあるが、災害発生時に磯公園に集まってみんなでキャンプや、仮設住宅を作るのかという話になった時に、あれほど利便性の悪いところに作るのか疑問である。

この計画は、10～20年前から一生懸命取り組んでいる人がいることと思うが、ただ、この2年間で世の中は激変しているし、そこにどれだけの予算を費やすのか分からないが、今はもっと大事なことが差し迫ってあるはずだ。本当に公園整備の工事が始まったら、「今すぐ中止しろ」と言う意見も出てくると思うし、もっと大事なところに、もっと人が直接来るようなところに予算を使うべきではないか。

次に、1回目の審議会で質問をしていた、市民アンケートの「これからも米原市に住み続けたいか」という問で、年齢別に分析された結果について、全体では、これからも住みたい人が62.8%、当分の間住みたい人を合わせると80%程度いるが、10代では14.8%、20代では28.8%しかない。この結果は、このままでは、ほとんどの若者が米原から出て行ってしまうことを物語っているのに、前回の審議会ではこれに関する説明がなかった。

参考資料3の第2次米原市総合計画基本構想見直し案の21ページ「市民アンケートから」について、対象者は18歳以上の米原市民2,000人で、小中学生アンケートは、小学4年生から中学校3年生までとされているが、大学や就職を考える一番大事な時期の高校生の意見が全く調査されていない。また、小中学生で「米原市が好きか」という問いで「はい」と

	<p>答えた子が多く満足しているのかと思いきや、前回審議会で配布された参考資料4 市民意識調査の「あなたは、これからも米原市に住みたいと思いますか」の年代別資料を見ると、10代で「これからも住みたい」と回答している人は多くないため満足できない結果であることがわかる。この調査では、対象人数が10代では27人、20代では73人で母数が少ないため一概には言えないが、こういう現状を理解したうえで、今回この総合計画を見直しているのか確認したい。</p>
<p>会長</p>	<p>本日配布した資料2「答申書案について」の中では「変化する時代に柔軟に対応しなさい」という内容を記載している。このことが直接的に磯公園に関する事業をどうやって止めるか等につながるかは分からないが、審議会としては、「時代に合わせた形で柔軟に対応してほしい」というまとめ方にしたい。</p>
<p>委員</p>	<p>承知した。今日は、市の職員の方に話すせつかくの場だと思ったので発言した。現在、私は市民ではないが、市内在勤者からの意見として受け取ってもらえたらありがたいし、少しでも市の意識を変えてもらいたい。</p>
<p>会長</p>	<p>ほかにご意見はいかがか。</p>
<p>委員</p>	<p>全章に共通することであるが、各章に「市民協働の取組」という項目があり、行政から市民に対する要求のように書かれている。しかし、「協働」というのは、行政と市民または事業者といった複数の主体が対等な立場で一緒に課題解決に取り組むことであって、市民に対して「これをしてください」と呼びかけるものではない。市民や民間が果たすべき役割といった表現に改める方がよい。</p>
<p>会長</p>	<p>法令や法律の文面では「市民の役割」という表現はよく出てくると思うが、そういった「市民の果たす役割」に変えた方がよいということか。</p>
<p>委員</p>	<p>市民の立場からすると行政から押し付けられているようで、不愉快であるし、協働の趣旨とも異なる。</p>
<p>会長</p>	<p>第1部の序論からの流れを受けてこの表現になった可能性があるため、修正する場合は全てを直す必要が出てくる。</p>
<p>事務局</p>	<p>前回の審議会でも別の委員から同様の意見が出されたが、この表現は5年前に第2次総合計画が策定された段階から使われてきたもので、事務局</p>

<p>会長</p>	<p>としては第3次計画の策定段階で表現を改めたいと考えていた。しかし、今回また同様の意見をいただいたので、内部で再検討したい。ただ、今回の中間見直しという段階で表現を変えるのは難しいと思う。</p> <p>おそらく前段の所で「市民協働の取組」という項目が位置付けられていなければ、今回の見直しで変更の余地はあると思うが、計画全体の構成内容として「市民協働の取組」が明確に位置付けられている場合は直すことは難しいと思う。一旦、事務局で検討してもらおうということによろしいか。</p>
<p>委員</p>	<p>了解した。</p> <p>次に、81ページの「3-1 生命を育む美しい水と豊かな自然を守り育てるまち」の現況と課題には山林と湧水に関する事しか書かれていないが、米原市の自然環境はそれだけではない。行政の役割分担としては、琵琶湖や河川は滋賀県の担当だから書かれていないのかもしれないが、市民の立場としては、水源から河川、琵琶湖に至るまでの流域全体が一つのセットとして全てそろっていることが米原市の豊かな自然の象徴である。そのため、森林や湧水だけではなく、天野川を経て琵琶湖へたどり着くまでの全体を通して、多様で豊かな自然環境に恵まれているという内容にしてほしい。</p> <p>例えば、81ページの現況と課題の中で「市域の約6割が森林であり」と言っているが、「市域の6割を占める森林から、姉川や天野川を経て、琵琶湖へ至る流域の豊かな自然環境を形成している」という森林だけでなく、河川や琵琶湖につながる流域全体という言い方に修正できないか。</p>
<p>事務局</p>	<p>河川に関する表現を入れ込めないか、事務局で検討し、森林だけでないという表現に改めたい。</p>
<p>委員</p>	<p>次に、81ページの現況と課題で「水源の里まいばらの美しい水環境を次世代に引き継いでいく必要があります。」とあるが、例えば現状、米原水を作ってPRしたり、環境の担当課で「未来に伝えたいまいばらの水」といった湧水を選定して発信したりされているので、この内容を追記してはどうか。</p>
<p>会長</p>	<p>既に発信しているという事実を追加するということか。</p>
<p>委員</p>	<p>そうである。</p>

事務局	担当課と相談し、できる限り反映できるようにしたい。
委員	<p>84 ページから 86 ページの内容について、自然環境と生活環境の振り分けが不明瞭である。</p> <p>例えば、85 ページ「③環境に配慮したまちづくりの推進」は環境に配慮したまちづくりを進めることでよりよい生活環境を守っていこうという趣旨で書かれていると思う。「まちのシンボル『ホタル』の保護活動を継続するとともに、ハリヨ、梅花藻などが生息する良好な自然環境を守るため、水質や生態系の保全など環境保護活動を推進します。」と記載されており、自然環境や環境保護活動の推進は、「3-1 生命を育む美しい水と豊かな自然を守り育てるまち（自然環境）」の分野に入れるべき内容だと思う。ホタルやハリヨは人が入らない自然の中にあるものではなく、人里近いところで人と共生して生息するからこそ生活環境が成立し、それらと一緒に生活できることが環境問題や生活環境の改善につながると思う。そのため、例えば、「ホタル、ハリヨ、梅花藻などが将来にわたって集落周辺で生息し続けられるよう、水や大地を汚さず身近な生態系を大切にする暮らしづくりを支援します。」という表現にしてはどうか。暮らしと身近な生き物がセットになった生活環境を守るという趣旨の表現に改められないか。</p>
会長	事務局で担当課と調整し、表現をどうするか検討するようお願いする。
委員	<p>計画の第一部は基本的に変更しないということであるが、パンデミックを経て、価値観などが大きく変わった歴史的な転換点であることを何らかの形で書き加える必要があると思う。そのため、答申に一文入れるだけではなく、パンデミックを踏まえた社会の変化に基づき、新常态を踏まえての新しい着想で、既存のシステムや基準に捉われない新しい政策に取り組んでいくという内容も入れるべきだと思う。</p>
会長	総合計画の見直し案の最初に「市長の方針」や「はじめに」のようなものは入らないのか。
事務局	計画書の中では「はじめに」として市長の挨拶を入れているので、その内容を変更して、コロナの影響や社会情勢の変化等について触れられるようにしたい。
会長	答申として市長へ返すので、答申を基にした表現に書き改めてもらうようにするという方向でどうか。

事務局	<p>非常に大切な話だと思う。今、コロナ禍で本当に社会が大きく変わっている。今回、たまたまこの中間見直しの時期と重なっているので、コロナ禍以降の施策等を考えた上で、今後5年間の計画を立てなければならないと思う。そのため、最初の市長挨拶の中でもそのことを明記して修正したい。</p>
委員	<p>100ページの現況と課題について、記載内容がバラバラだと思う。農業、林業、農業の順に書かれているので農業と林業を分けた上で分野ごとにまとめて書いた方がよい。</p>
会長	<p>もっともな意見である。修正をお願いする。</p>
委員	<p>36ページの将来都市構造図は「将来」と書いているが、将来に向けた構想なのか、これが現状で今後作り上げていくという意味なのか分からない。ここでは磯公園についての記載がない。今、本当に磯公園について計画を立てているのであればここにも掲載すべきであるし、あくまで案であって、ほかにも候補地があるというのであれば、それもプロットすべきである。どういう趣旨で作成されているのかが分からない。</p>
会長	<p>基本的には米原市の各地域の役割とネットワーク等を構想として書かれているものと想定する。将来と記載されているのは、現時点で不十分なところもあるが、未来では「こうありたい」という意味で載せているものだと思う。</p> <p>こういうものは、どの市町でも同じだと思う。</p> <p>磯公園については確かに記載されていないが、地理的には生活交流軸という矢印の辺りになるのか。</p>
委員	<p>要は、「将来」と言うのであれば、現状を伝えた上で例えば「軸をこうしたい」「庁舎をここに建設したのでこうしたい」という方針等が書かれていれば理解できるが、この図ではそういったことが書かれていないので、現状を伝えているだけなのかがわからない。策定時の5年前に描いた将来像のままなのか、5年経過した現時点の話なのか、今後5年後に描いている未来像がこの状態なのか。</p>
会長	<p>総合計画とは別で都市計画マスタープランがあるので、その内容を参考にして掲載していると思うが、要は将来の都市構造としてこれでよいのかという問題提起である。</p>

事務局	<p>都市計画の関係も出てくるので検討していくが、将来の構造図というものではなく、現状を反映したものだとして捉えている。米原市は、中京、北陸、京阪神等の大きな軸上に位置しており、その三角点の結節点でもあり、交流の軸がここにあるという現状を示したものでもある。</p> <p>この計画の中には、道路網の整備計画や大きな工業団地等の計画についても記載しており、未整備な部分についてもまだまだあるため、そういった意味での将来構造ともしている。また、委員が発言されたように、都市公園は緑の基本計画等の別の計画の中で位置付けをしているため、総合計画のような大きな計画上で公園のような施設は含めていない状況である。ここでは、将来構図として現状を踏まえて設定したものである。</p>
委員	<p>了解した。</p>
会長	<p>都市計画マスタープランには各地区のより詳しい内容が書かれているので確認いただきたい。</p> <p>では、第5章、第6章について事務局から説明をお願いします。</p>
事務局	<p>【事務局から説明】</p> <p>・第2次米原市総合計画見直し案について（第5章、第6章）</p>
会長	<p>では、この章の担当者から意見ををお願いします。</p>
委員	<p>111 ページの現況と課題で「柏原駅、近江長岡駅、醒ヶ井駅の3駅周辺を対象地域として、移住定住者を支援するための取組を進めており、この地域をモデルとして駅を活用した移住・定住を促進する必要があります。」と書かれているが、空き家への移住希望者は、この3駅だけでなく、ほかの地域にも広がっている。「この地域をモデルとして駅を活用した移住・定住を促進」というのではなく、「市内全域で各地域の特徴に合った移住促進を図る」という表現にすべきではないか。</p> <p>119 ページの「6-2 効果的な情報発信と情報共有の推進」について、国が高度情報化計画を進めるため列島の海辺に海底ケーブルを設けて高速通信網を再構築する計画もあるが、それと同様に米原市内でも通信の基盤整備が進むように働きかけをしてほしい。</p> <p>例えば NTT や ZTV 等、高速通信ができるような基盤整備を図ってほしい。</p>
会長	<p>この内容はどこに記載する想定か。</p>

委員	<p>120 ページでは、電子自治体の構築や情報公開の推進等があるが、アプリケーションを並べているだけであり、肝心の基盤が整備されなければこういったものは機能してこないため、ハード面での基盤整備等についても要望する旨を記載してほしい。</p> <p>また、112 ページの「②公共交通ネットワークの形成」について、大垣方面から米原へ来る JR の電車は昼間の場合、乗換が必要である。そのため、東海方面からの人の流れを米原へ誘導するためにも昼間の時間帯の本数を増やすよう JR へ要望してほしい。観光都市を実現するためにも、周辺の基盤整備は必須である。</p>
事務局	<p>JR に対する要望は、毎年、市長から直接 JR 西日本・JR 東日本へ提出している。要望活動は継続して実施しているため、総合計画上での追記は見送りたい。</p>
委員	<p>市としての方向性や考え方を別の表現でも構わないので記載すべきではないか。</p>
会長	<p>現況と課題に記載してはどうか。</p>
事務局	<p>既にコロナ禍の影響により JR 西日本では減便が決定されている状況であるため、こうした状況を現況と課題の中で触れて、主な取組の展開の公共交通ネットワークの形成につながるような書きぶりにしていきたいと思う。</p>
会長	<p>現状として、JR に対する要望を実施しているのであれば、協議を進めていることが分かる内容を記載すべきではないか。記載されていないと、要望もしていないと捉えられかねない。</p> <p>また、111 ページの現況と課題の移住定住に関するモデル地域について「市内全域で推進する中で、モデル地域を設定する。」といった表現がよいのではないか。</p>
事務局	<p>担当課と調整して意見を反映できるように修正したい。</p>
会長	<p>120 ページの情報システムに関わる基盤整備について、市として基盤整備ができるものなのか。</p>
事務局	<p>ZTV は「伊吹山テレビ」という行政放送があるため、行政主導で加入促進を図っているが、そもそも高速通信の 5G 等の整備は、民間と連携して</p>

委員	<p>進めていく方法も可能ではあるが、現段階で市としてまだそういった事業者を誘致する等の話には至っていないため、記述していない。</p> <p>「要望する」などといった表現で追記できるかどうかは市内部で協議が必要である。</p> <p>既に伊吹地域では東京方面から在宅ワークをするために空き家を購入して移住されたケースが何件かある。また、定住ではないが、オフィスとして使用したいという要望が出ているので、それを実現するためには、高速通信の整備が必要不可欠であり、移住を検討している人たちも通信状況は非常に心配されているため、市としても整備に向けて要請してほしい。</p>
会長	<p>光ファイバーが引けたらよいということか。</p>
委員	<p>そうである。途中までしか引けていない地域もあるので、きちんと整備をしてもらえるように要請してほしい。</p>
会長	<p>元々、基盤整備ができていなければデジタル化は進められないので、市として検討して、可能であれば追記をしてほしい。</p> <p>ほかに意見等いかがか。</p>
委員	<p>110 ページの市民協働の取組で「にぎわいの場を創出するため、駅周辺の美化や景観の維持に努めましょう。」とあり、市民が駅周辺の美化に努めることは理解できるが、にぎわいの場を創出するためという表現は違和感がある。これは、市民だけで実現できるものではなく、地元企業等の協力を得て取り組むべき項目だと思う。</p> <p>私も以前は米原駅を利用していたが、駅周辺の JR の土地が余りにも整備されておらず、大変残念に感じていた。例えば、JR 宿舎の周辺は雑草が伸び放題で、近江さくらが丘の辺りは、大木が茂り見通しが悪い。駅から庁舎までのたった数百メートルの範囲でさえも JR は環境美化に協力的でない状況であり、非常に残念である。市民等の駅利用者が多くいるのだから、JR 側としても駅利用者が気持ちよく利用できるための環境整備に努めてほしい。</p> <p>県外のほかの新幹線停車駅は素晴らしい駅ばかりで、北海道や北陸では JR と協力して作られているような地域も見られた。</p> <p>米原駅も立派にはなったが、ほかの新幹線停車駅と比べれば、洗練されておらず利便性もよくない。JR が米原市の思いを受けとめてくれる協力体制を作らなければならない。</p> <p>市民が協力して実現できることもあるが、基本的には JR が米原市の思</p>

<p>会長</p>	<p>いを受けとめてくれる施策やシステムの導入が必要である。 JR への要望の際には、このような思いも入れてほしい。</p> <p>具体的に総合計画では、どういう形で追記するとよいと思うか。</p>
<p>委員</p>	<p>現状と課題の中では米原駅のことを多く書かれているが、基本的には JR の協力があつてこそ実現できる景観形成だと思う。 そのため、「JR 西日本・東海に対して、現在は景観形成がなされていないので、景観形成に対する強力な協力を要請していく。」といった内容を追記してはどうか。</p> <p>米原駅周辺は本当に残念な景観で、近江さくらが丘の辺りも大変荒れているので、市からも JR に対してもっと働きかける必要がある。そうでなければ、市側が「駅周辺を盛り上げたい」と言っても、JR は応じてくれないと思う。米原市と地元観光協会等で連絡協議会を作り、米原駅の景観や美化に取り組んではどうか。</p>
<p>会長</p>	<p>現状として、市の動きは何かあるのか。</p>
<p>事務局</p>	<p>景観形成に関する JR との連携はおそらく現状はできていない。JR への要望もダイヤの増便やホームの環境整備などが中心になっているが、委員が提案されたとおり、景観がよくないのは改善していくべきことであるため、担当課とも相談して今後、JR とどのように連携していくとよいか、検討していきたい。</p>
<p>会長</p>	<p>可能であれば、現況と課題の欄で景観形成の取組がなされていないことを追記し、対策は市で検討された内容を追記する形でどうか。</p>
<p>委員</p>	<p>ぜひ、そうしてほしい。</p>
<p>会長</p>	<p>また「にぎわいの場を創出するため」という表現は確におかしい。「にぎわいの創出や、駅周辺の理解や景観の維持に努めましょう」という並立の表現が正しいのではないか。 実際、にぎわい創出に向けた取組を実施している委員からの意見はいかがか。</p>
<p>委員</p>	<p>私は、にぎわいを創出することが目的になることはおかしいと思う。個人的には「にぎわい」という言葉に執着がなく、にぎわいというのは取組を行った結果として自然に表れるものだと感じている。</p>

会長	<p>「駅周辺の美化や景観の維持を通じて、にぎわいのある駅を作りましょう。」とした方がよいか。語尾が「しましょう」となるのもよくないという意見も出ていたので、この件は改めて検討してほしい。</p>
委員	<p>117 ページの「6-1 多様な主体による協働のまちづくりの推進」とあるが、今不足しているのは市民と行政が十分に対話する機会である。</p> <p>先日、協働提案事業の審査会で審査員として出席した。以前は市民団体が申請書を作った上で、市側で担当課を決めて一緒に取り組んでいく形であった。その結果、申請書の記載内容をそのまま実施するしか手立てがなく、行政側のモチベーションが上がらないことが起こっていた。そのため、今年度はエントリーシートという形で「こういった取組をしたい」という要望を市民団体から出して、担当課を決めた上で、担当課と相談をして取組内容を詰めていくという形に変更し、本当に市民と行政が一緒に取り組もうという意思が感じられた。</p> <p>こうした対話のプロセスの素晴らしさを追記してほしいので、まず現況と課題の3項目目で「市民と市のそれぞれが持つ知識や経験、人材や情報などを集結し、役割分担することで地域課題の解決を目指しています。」とあるが、せっかく様々な資源を集結したのに、すぐ役割分担をするのは早すぎると思う。「十分な対話をしたうえで、地域課題の解決を目指していく。」とした方がよいのではないか。</p>
会長	<p>「役割分担することで地域課題の解決を目指す。」というところを、「十分な対話を通じて地域課題の解決を目指す。」と修正するのか。</p>
委員	<p>そうである。常に、市民と行政でお互いの役割分担をして、割り切ってしまうのではなく、話し合いをしながら取り組むというイメージを描いている。</p> <p>また、120 ページの「①シティセールスの推進」について、今年度開催されたシティプロモーションアワードでは、彦根市が受賞された。彦根市で一生懸命取り組まれていたのは、市民に対するシビックプライドの醸成である。市民等に対して、自分たちのまちを愛する、愛着を持つための取組を一生懸命行った結果、市としての見え方が変わったものだと捉えている。</p> <p>この総合計画では、シティセールスとして市の外側に対する訴求等が書かれているが、市民や行政自身の意識の変革も入れるべきではないか。</p>
会長	<p>120 ページの「①シティセールスの推進」の2項目目で、「本市の魅力を積極的に発信するとともに」の後に「シビックプライドを高め」を追記</p>

委員	<p>し、「まちのブランドイメージの確立と認知度の向上を図ります。」としてはどうか。</p> <p>今回の会議の場で検討することではないが、自治会からの一意見として発言したい。資料1の6ページ目の「6-3自治会に女性がまだまだ進出できていない。」という意見に対する反映方法として、「自治会での女性進出に対して、交付金制度を2年前から創設するとともに」とある。私の自治会でも、規約改正等の手続きを経て、女性役員の登用を図ったが、その際、「女性だから」「男性だから」といった性別を理由に助成金が出されるのはおかしいという意見があったので、担当課には再度検討をしてほしい。</p>
会長	<p>全人口の男女比はおおよそ50:50であるので、役員の男女比も半々を目指してほしいという話か。</p>
委員	<p>性別によって対応が変わるのはおかしいということである。規約まで変更して助成金を得るのは、本来の目的と合致していないのではないか。</p>
会長	<p>自然に男女比が半々になれば一番いいと思うので、そういった啓発等が大事だと思う。</p>
委員	<p>余談になるが、今回の会議の冒頭で、放課後児童クラブや図書館の関係で委員から発言があったが、現場にいるからこそその熱い思いを語られたものだと思う。私も放課後児童クラブの支援員をしているので、こういった関係者が意見を出し合える機会があれば、ぜひ紹介いただきたい。</p>
事務局	<p>担当課経由で、市長と各種団体が意見交換をする仕組みもあるので、ぜひ利用いただきたい。</p>
会長	<p>これを機に自主的な取組を行う団体が増えるとよいと思う。</p> <p>では、時間も迫ってきたので、ほかにも意見があれば事務局へ直接申し出ていただき、最終的なものをもう一度、皆さんに配布したい。</p> <p>2つ目の議題について、資料2として答申書案を作成した。これを今回の最終的な計画案に添えて12月16日に市長へ答申するという流れである。</p> <p>当日は富川副会長と私が代表して出席したいと思っているが、答申案の内容について、皆さんから意見をお願いしたい。</p> <p>(答申書案全文読み上げ)</p>

委員	<p>参考資料3「第2次米原市総合計画基本構想見直し案」の33～34ページに、令和3年から令和8年にかけての人口の変化や計画当初からの人口変化について記載されているが、ほかの部分は平成26～27年のデータのままで止まっており、この後の経過がわからない状況の中で見直し案を検討していることになると思う。今日の議論の中では、コロナ禍を見据えた内容をもう少し強く出してはどうかという意見もあった。また、例えば1つめで「人口減少に備える」とあるが、トータルで見ると人口が減少することが分かるが、詳細に見ると、90歳以上では51人増え、75歳以上の後期高齢者は482人も増えるため、この視点がないと単に人口減少という表現にしてしまうとわかりにくいし、危機感を踏まえた書き方にした方がよい。</p> <p>また、先取りするという意味では、徳島県の神山町では、インターネットの基盤整備をしたことで、外国人や若者など様々な人が流入したという例がある。この人口を先取りするための何かをここに入れないと、今後のことを考える時のポイントが薄れると思う。単に観光で人を誘致することは大変難しい。そうすると、住み続ける人を誘致するためには、米原市のできる基盤整備をどうするのか、JRでなければ、今ある国内のたくさんの事例の中で何か一つ「これをテコに米原市は取り組む」と言えるような答申にしたい。</p>
会長	<p>人口減少だけでなく、高齢化についても併記した方がよいということか。</p>
委員	<p>生産年齢人口についても、大きく減少することに対し、危機感を持って考えることが重要である。</p>
会長	<p>人口の変動という表現はどうか。</p>
委員	<p>大きな変動を意識するような文言がなければ、危機感が共有できないと思う。危機感があって、初めて持続可能なまちに向けての人口増加施策等が生まれるのではないか。</p>
会長	<p>「危機感を持って対応すること」という書き方はできると思う。</p>
委員	<p>例えば、この5年間で一番大きく減るのは生産年齢人口で、このことを一例として挙げてはどうか。</p> <p>生産年齢人口は15歳以上であるため、子どもから今後米原へ移住してくる世帯も含まれてくる。この人口が大幅に減るといいう指摘もあり、それ</p>

<p>会長</p>	<p>と同時に、ケアが必要な高齢者は増える見込みである。</p> <p>今、用意されているデータは人口だけで、ほかの産業等については、5年前の経過はあるが、この5年間でどうなったか、コロナでどんな影響があったかというデータがないため、説得材料にならない。</p> <p>本来、計画を作る場合、アンケートとともに、実態として経済がどれだけ低迷したか、商工業の担い手がどれだけ減少したかというデータがあったほうがよいが、それがないので説得力に欠ける。</p> <p>具体的な動向に基づいて、精査し記載すべきとの意見であったが、即答はできない。</p> <p>また、危機感を持って対応することや、人口を先取りするような米原市らしさを生かして、住みたい、住み続けたいと思える魅力を創造するための手立てをどうするかという意見であった。</p>
<p>委員</p>	<p>私は神山町の人からそういった話を聞いていて、芸術家や若者、外国人もたくさんいるので、仕掛けとしてはアメリカの視点を持って取り組んだということであった。</p>
<p>会長</p>	<p>先取りした取組が必要なことは理解できるが、新たな発想や先駆的な取組になるとハードルは高くなると思うし、それを市役所内部で誰が考えるのか、本当は市長に引っ張ってもらえるとよいと思う。</p> <p>答申案は今の意見を加味して修正する。</p> <p>ほかに意見はいかがか。</p>
<p>委員</p>	<p>全体的に、とても考えられたよい文章だと思うが、柔らかい表現に留まっているため、「危機感を持って取り組んでほしい」という市長に突き刺さるような表現にしてほしい。特に若者の流出について、危機感をもって対応して欲しいということ、また、3つめで「市民とまちづくりの方向性の共有を図るとともに」とあるが、共有ではなく、市民と一緒に考えて体制を作っていないと、今後乗り越えられないと思う。市が作った案に対して市民が意見を述べて、市が修正をするというのではなく「一緒に作り上げる体制づくり」を提案してほしい。</p> <p>また、3つめの結びに「政策に柔軟に反映するよう努めること」とあるが、「計画の見直しも含めて」と追記してほしい。</p> <p>5年前の計画を今、議論するというナンセンスな状態を早く直さなければならない。「今までがこうだったから」という考え方では本当に将来はないと思うので、そういった表現に改めてほしい。</p>

会長	<p>若者の流出に対する危機感と、市民と一体の体制の構築、計画の見直しを含め決断をするというインパクトあるフレーズを入れるという意見でよろしいか。</p>
委員	<p>そうである。</p>
委員	<p>減少の程度こそ異なるが、人口減少は日本全国で起きていることであり、米原市だけの問題ではない。これを打開するには、米原市の特性を生かすまちづくりをしなければならない。米原市は交通インフラが大変集中しているのに、それを生かしたまちづくりをこれまでしてこなかったことが停滞の原因だと思う。まずは、交通インフラを強みとして生かしてこなかった問題を素直に反省してほしい。</p> <p>これだけの良い立地で、交通インフラが整っているのに、産業誘致も人口誘致も進まず、インフラ整備がしやすい場所にも関わらず、取組を進めてこなかったことが米原市の発展を阻害している根源であり、若者が住みたいと思う魅力づくりに繋がらなかった。過疎が進む他市に比べて、米原市には新幹線停車駅や高速道路もあるのに、なぜここまで人口減少が進むのか、私の知人たちも疑問視している。</p> <p>何もしなかった結果が今顕在化しているということ、この状態のまま放置すれば、5年後、10年後にはさらに若者が出ていってしまうということを、行政や市長にもう一度言いたい。「人口減少」はどこでも起きていることであり、フレーズとして弱い。生産年齢人口や若者が定住しないということを明記しなければ、危機感を持ってもらえないのではないか。</p> <p>自治会では、様々な問題を抱えながら運営しているが、地元の若い人達は魅力がないし、様々な縛りがあることを理由に出て行ってしまう。</p> <p>住みたくなるまちにするには、どうすべきかを真摯に考えなければいけない時期に来ている。</p>
会長	<p>今の意見を反映した形で修正したい。</p> <p>ほかによろしいか。</p>
委員一同	<p>意見なし</p>
会長	<p>では、その他のスケジュールについて事務局から説明をお願いします。</p>
事務局	<p>【事務局から説明】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・今後のスケジュールについて

会長	<p>答申書は正副会長で責任を持って直すので、委員の皆さんにはご理解いただきたい。</p> <p>それでは、最後に副会長からあいさつをいただきたい。</p>
副会長	<p>3回にわたる議論を通して、無事に計画案の作成、そして答申書の作成に至ったことに感謝する。</p> <p>今回の審議会の打診を受けた際、話合いの時間が短く、会議の回数が少ないのではないかと事務局には伝えたが、難しい状況の中で事務局側も非常に尽力され、今日を迎えた。</p> <p>キーワードとして出てきた「対話」は総合計画だけでなく、今後の取組すべてに通じることだと改めて感じている。対話だけではもう間に合わないかもしれない程である。課題をきちんと把握されている委員の皆さんは、すぐにでも一緒に考えて、動いて変えていく、前進していく時期にあり、危機的な状況にあると感じておられることも大変強く感じた。</p> <p>今回、答申は作成できたが、ここからがいよいよ本番になる。今後も、「対話」「協働」ということで、米原市と皆さんと一緒に動いていきたい。</p>
会長	<p>これで本日の議事を終了する。</p>
事務局	<p>鵜飼会長をはじめ委員の皆様には、短い時間ではあったが、議事について最後まで議論していただき、感謝申し上げます。</p> <p>それでは、閉会に当たり、政策推進部長から一言申し上げます。</p> <p>(閉会挨拶)</p> <p>— 終了 —</p>
会議の公開・非公開の別	<p>■公開 <u>傍聴者： 3人</u></p> <p><input type="checkbox"/>一部公開</p> <p><input type="checkbox"/>非公開</p> <p>一部公開または非公開とした理由 ()</p>
会議録の開示・非開示の別	<p>■開示</p> <p><input type="checkbox"/>一部開示 (根拠法令等：)</p> <p><input type="checkbox"/>非開示 (根拠法令等：)</p>
全部記録の有無	<p>会議の全部記録 <input type="checkbox"/>有 <input checked="" type="checkbox"/>無</p> <p>録音テープ記録 <input type="checkbox"/>有 <input checked="" type="checkbox"/>無</p>
担 当 課	<p>政策推進課 (内線4232)</p>